

【履修系統図】共立女子大学 看護学部 看護学科

人材養成目的	看護学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき「幅広い教養を基盤とした豊かな人間性を養い、看護専門職として必要とされる知識・技術・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための研鑽能力を養い、人々の健康の保持増進に寄与することにより、自ら自己の将来を切り開き、自律的に社会に参画・貢献しうる女性を育成する。」ことである。
ディプロマポリシー	看護学科は、本学科の課程を修め、124単位以上の単位修得と必修等の条件を満たしたうえで、次のような社会に広く貢献できる自立した女性としての必要な知識、技能並びに資質を備えた人物に学位を授与する。 (1)看護の対象を包括的に捉えるための幅広く深い教養と専門的知識を身に付けている。(知識・理解) (2)科学的根拠に基づき、看護を計画的かつ安全に実践するための理論的知識を身に付けている。(知識・理解) (3)看護の対象となる人々と適切な援助的コミュニケーションをとることができる。(技能) (4)個人や家族の健康レベルや生活、地域の特性と健康課題を査定し、より質の高い看護を実践できる能力を身に付けている。(技能) (5)ケア対象のあらゆる発達段階、健康状態、心理状態に対応して援助できる能力を身に付けている。(技能) (6)保健医療福祉チームと関係性を密にし、連携・協働して社会的ニーズや状況に対応した看護を提供できる能力を身に付けている。(技能) (7)客観的思慮を活用した判断と意思決定によって、根拠に基づいた看護を提供することができる。(思考・判断・表現) (8)最新の知識・技術を用いて、必要とされる看護を判断し、計画的に実践することができる。(思考・判断・表現) (9)看護の対象となる人々の健康レベルを成長発達に応じて査定し、身体状態との関係を説明することができる。(思考・判断・表現) (10)人間の尊厳と権利を擁護する能力、高い倫理観を基盤としたヒューマンケア態度を有している。(関心・意欲・態度) (11)看護専門職としての役割を果たし、社会に貢献していくために、将来にわたり自己研鑽を継続し、看護実践のための専門性を発展させる意欲を有している。(関心・意欲・態度)
カリキュラムポリシー	ケア対象者について理解し、その対象に応じた健康課題を適切に査定し、健康生活を支えるために必要な基礎から応用までの援助の理論と実践力、及び看護実践のための専門性を発展させる能力を育成することを目的とし、教育課程を編成する。

科目区分	教育目標	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ 生化学 発達心理学 微生物学	解剖生理学Ⅱ 病理学		
	疾病と治療		病態と治療Ⅰ (臓器疾患) 病態と治療Ⅱ (全身システム疾患) 病態と治療Ⅲ (老年科疾患) 病態と治療Ⅳ (産婦人科疾患) 病態と治療Ⅴ (小児科疾患) 病態と治療Ⅵ (精神科系疾患)		
	看護の基盤	看護学概論 人間関係論	看護英語Ⅰ(コミュニケーション) 看護英語Ⅱ(リーディング)	看護倫理	
	社会と医療		保健医療福祉行政論 保健統計 疫学Ⅰ 多職種連携論 看護統計	疫学Ⅱ	
専門基礎科目	健康生活を支えるための看護技術の原理と基礎を学ぶ	基礎看護技術論 日常生活技術論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ	ヘルスアセスメント論 日常生活技術論Ⅱ 医療支援技術論Ⅰ 看護過程展開論Ⅰ 医療支援技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ		
	専門的職業人として必要とされる看護学分野の専門的知識と技術、態度の修得 看護対象者のライフサイクルに応じ、その健康を援助するための看護活動の実践の基礎を学ぶ	成人看護学概論 老年看護学概論	成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助演習Ⅰ 老年看護学援助論 老年看護学援助演習 小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 母性看護学概論 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 精神看護学概論 精神看護学援助論 精神看護学援助演習 地域看護学概論 地域看護学援助論 地域看護学援助演習 在宅看護概論 在宅看護援助演習	成人看護学援助演習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ(地域) 老年看護学実習Ⅱ(施設) 老年看護学実習Ⅲ(病院) 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域在宅看護学実習 看護研究法 総合技術演習(OSCE)	
専門展開科目	卒業後看護専門職としての役割を果たし、社会に貢献していくために、各専門領域で学んだ知識・技術・態度を統合し、看護職としての専門性を発展させ、看護実践能力を開発する能力を育成する		医療安全論 リハビリテーション看護論 国際看護論 保健指導・健康教育論 家族看護学 がん看護論 災害看護論 看護管理学 学校保健・産業保健	看護学総合演習 看護学総合実習 公衆衛生看護管理論 健康危機管理論 エイズ予防マネジメント論 エンドオブライフケア論 認知症看護論	
統合科目	これまでの学修を統合して、多職種・多機関の連携・協働について実践的に理解するとともに、医療チームの一員として看護を実践するためのマネジメント能力等を育成する。また、これまでの学修内容の中から研究課題を設定し、研究プロセスに則って論文を作成し発表する。			看護学総合実習 公衆衛生看護学実習※ 統合ケア演習 卒業研究	

必修科目
 選択必修科目
 選択科目
 ※ 保健師課程選択者のみ履修可